



ものづくりインキュベーションセンター 入居者審査委員会 開催報告

平成31年1月30日(水)に開催しました当機構入居者審査委員会により、延長申込企業4社の延長と、新規入居申込1社の入居が決定いたしました。

新規入居企業の株エムケー技研は日本大学工学部卒業生が地元福島のために立ち上げた、主に企業等の研究開発支援を行うベンチャー企業です。詳しくは次号のテクノポリスだよりをお楽しみに。

【延長】

支援室No.	企業名・代表者	研究開発内容	入居期間
1	(株)アスター 代表取締役 本郷 武延	高効率モーターコイルの研究開発	平成31年4月1日～平成32年3月31日
2	(株)アイアールメディカル工房 代表取締役 河邊 大輔	血管内治療用カテーテル製造事業	平成31年3月1日～平成32年2月28日
4	(株)Social Area Networks 代表取締役 森田 高明	LPWA をベースとした IoT 機器の研究・設計・開発	平成31年3月1日～平成32年2月28日
6	(株)マルマス 代表取締役 生亀 慎吾	新素材の活用方法の確立と拡大	平成31年3月1日～平成32年2月28日

【新規】

支援室No.	企業名・代表者	研究開発内容	入居期間
10	(株)エムケー技研 代表取締役社長 諸根 理仁	計測機器のプロトタイプの開発	平成31年4月1日～平成32年3月31日



齋藤審査委員長挨拶



プレゼンテーションの様子



プレゼンテーションの様子

須賀川市企業間ネットワークセミナー2019 開催報告

2月7日、グランシア須賀川を会場に須賀川市が主催し、当機構が後援した「須賀川市企業間ネットワークセミナー2019」が開催され、当機構職員を含む約100名が参加しました。

今回は、「離島からの挑戦」をテーマに、佐渡精密株式会社 代表取締役社長 末武 和典氏が佐渡島の離島においても、高い技術と対応力で医療機器や航空機産業へも進出した取り組みについてご講演しました。

その後、「NIIGATA SKY PROJECT の取り組みについて」をテーマに新潟市企業立地課 航空産業立地推進室長 宮崎 博人氏は、新潟に大手企業がない中、中小企業が連携し航空機部品共同工場を実現するためのご努力についてご講演されました。



佐渡精密(株)末武和典氏の講演



新潟市宮崎博人氏の講演

日本大学工学部による市民公開シンポジウム 第8回 ロハスの工学シンポジウム 開催報告

『ロハスの工学のこれまでを振り返り、これからを考える』

2月23日、日本大学工学部50周年記念館を会場に日本大学工学部が主催し、当機構が後援した「第8回ロハスの工学シンポジウム」が開催され、当機構職員を含む約100名が参加しました。

今回は、「ロハスの工学のこれまでを振り返り、これからを考える」をテーマに、日本大学工学部 上席研究員の加藤康司氏及び医療法人仁寿会 菊池医院 理事長・院長であり、認定NPO 法人郡山ペップ子育てネットワーク理事長でもある菊池信太郎氏が基調講演を行いました。

その後、日本大学工学部の岩城教授、浦部教授、伊藤准教授、村山准教授、若林教授、中野教授がご自身の研究についての「ロハスとの関わり」について話題提供を行い、最後にこれらの先生方が今回のテーマであるロハスの研究によるこれまでとこれからについて、パネルディスカッションを行いました。

話題提供をされた先生方は当機構に深い関わりのある方々であり、先生方の研究がテクノポリス圏域の発展に寄与されるものと期待されます。



ロハスのこれまで、これからについてのパネルディスカッション

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議・特別講演会開催報告 日本発の海底探査チーム「Team KUROSHIO」 Shell Ocean Discovery XPRIZEへの挑戦

2月1日(金)、ホテルハマツを会場に郡山地域テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議・特別講演会「日本発の海底探査チーム「Team KUROSHIO」 Shell Ocean Discovery XPRIZE への挑戦」をテーマに、国立研究開発法人海洋研究開発機構 地震津波海域観測研究開発センター 海底観測技術開発グループ 技術研究員であり、Team KUROSHIO 共同代表の大木 健 氏による世界初の無人探査ロボットによる超高速・超広域の海底探査コンペティション「Shell Ocean Discovery XPRIZE (シェル・オーシャン・ディスカバリー・エクスプライズ)」に挑戦する経緯、1次審査、2次審査(最終審査)に至るまでの経緯や苦労話など、詳細に解説いただきました。本挑戦は、4人の若手研究者たちが、コンペティションに参加したいという気持ちから実現させていく情熱が感じられる講演で、最終結果の発表が今月を予定しているため、結果が気になるところです。

講演会には、企業や支援機関等約80名が参加し、動画を交えた先生の講演に耳を傾けていました。

また、講演会終了後には懇親会を開催し、意見交換をしながら交流を深めました。



Team KUROSHIO 共同代表 大木健氏



聴講の様子



和やかな雰囲気での交流会が行われました

産学連携学会 産学・地域連携セミナー報告

- 日 時：平成31年2月8日(金) 14:30~17:00
- 会 場：郡山商工会議所会館 6階 「中ホールA」
- 参加者：約100名
- 主 催：産学連携学会東北・北関東支部
- 内 容：

基調講演 「産学連携による地域活性化～支援制度と橋渡し人材の活用」

科学技術振興機構 (JST) 産学連携展開部

地域イノベーショングループ 産学連携フェロー 二階堂 知己 氏

JSTの紹介と研究機関が目指すものと企業が訴求するものに齟齬が見られるからJSTの推進役であるMP(マッチングプランナー)が、地域密着型支援を展開しているので活用して欲しいとの講演がありました。

講演【大学】 ①「福島イノベーション・コースト構想が目指すもの」福島大学 小沢 喜仁 教授

②「みちのくコンソーシアム地域活性化」山形大学 小野寺 忠司 教授

③「東北大学NICHeの取組み」東北大学 長谷川 史彦 教授

【企業】 ④「マッスルスーツや医療用3D-ARシステムの開発」(株)菊池製作所ものづくりメカトロ研究所 所長 一柳 健 氏

⑤「産学連携による透析用水素濃度モニターの開発」(株)ピュアロンジャパン 取締役 プロダクトマネージャー 大井 貴史 氏



今月のコラム

(シニアアドバイザー 門脇修一郎)



アボット社が画期的な血糖測定器を開発しました。「FreeStyle リブレ」です。採血不要で500円玉大の薄型センサーを皮膚に張り付けるだけ。センサー装着の無痛微細針が組織の血糖値をキャッチします。いつでもどこでも小型外部モニターで瞬時に血糖測定が可能です。データは14日分保存でき血糖管理に効果的に使用できます。2017年9月1日に保険適用になりました。私も試したことがあります。自分で指先に針を刺して採血するのは痛みと緊張を伴うもので苦痛以外の何ものでもありません。この機器は当面はインスリン治療患者対象ですが採血の痛みから患者さんを解放する大きな一歩であることは確かです。ただ、「もっと簡単に、もっと手軽に」という患者さんの声が聞こえてきそうです。技術は日進月歩です。この続きは別の機会に話させてください。

発行元

(公財)郡山地域テクノポリス推進機構/郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

TEL 024-947-4400 FAX 024-947-4475 E-mail techno@nm.net6.or.jp

郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

TEL 024-926-0344 FAX 024-943-4441 E-mail monodukuri@nm.net6.or.jp

